

建築学科 3 年の井上 亮汰、井ノ浦 悠貴、馬場 慧さんが優秀賞を受賞

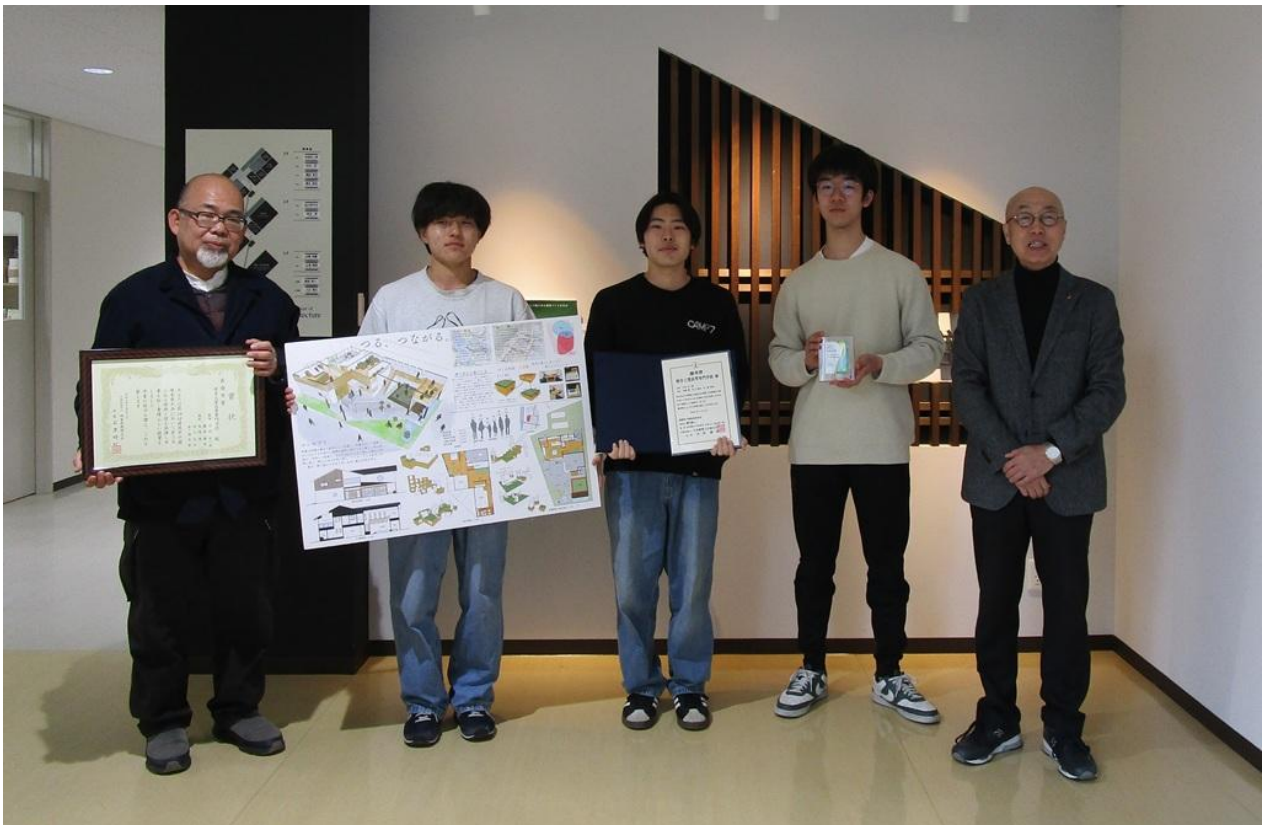
(公社)日本建築士会連合会、都道府県建築士会が主催する、2025 年第 16 回高校生の「建築甲子園」「地域のくらし-地域に根ざした新しい和室を持つ戸建の住まい」で、建築学科 3 年の井上 亮汰、井ノ浦 悠貴、馬場 慧さんの作品「つる、つながる。」が優秀賞を受賞しました。

県大会予選を勝ち抜いた全国大会出場代表校 50 校 56 作品から一次審査 (13 校) に選出され、プレゼン動画による最終審査会で優秀賞を受賞しました。

受賞した 3 名の喜びのコメント

自分が設計した建物を評価して頂く貴重な経験をさせて頂き、本当に嬉しく思います。(井上)
初めてコンペに挑戦しましたが、思っていたよりもずっと楽しかったし、仲間と様々な案を出し合い、一つの作品を完成させることが出来た事が嬉しかったです。(井ノ浦)

テーマに真摯に向き合うこと、ひとつひとつのアイデアに対してメンバーみんなで考えること、実際に建物を見て空間やスケールを実感することなどを、自然とメンバー全員が意識していたと思います。自分達のアイデアや工夫が、審査員の方々に伝わったということが何より嬉しかったです。(馬場)



石黒時紀 (公社) 岐阜県建築士会会長から表彰を受ける学生